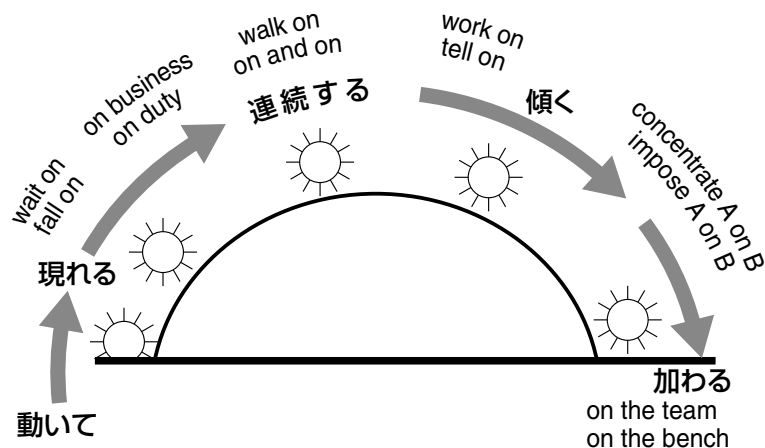


第7章 on

onは 「休まずに連続して」

「一点」を表すのが **at** であり、「最小幅を区切って進む」のが **by** であり、さらに「二点を結ぶ線・弧・円の運動」は **for** であり、そして「休まずに連続して」を表す前置詞に **on** がある。**on** は太陽の動きに例えることができる。日が出て、「対面方向に表れ」、その動きとともに休まずに時を刻み（「休まずに連続する」）、そして「日が傾く」から「傾く」、比喩的に「依存する」「負担をかける」。そして、日没時には、日が地平線上すれすれに浮かんで見えることから「接触して上に加わる」を表す。



[1] onの本質は「動き」

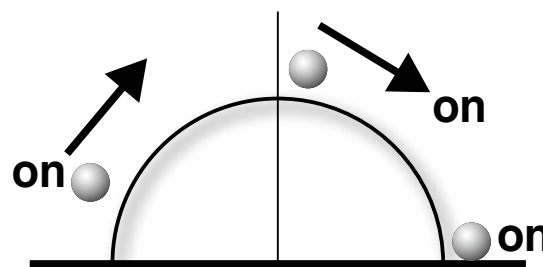
onは「～の上に」と学校で教わったという人が多いのですが、それはonのごく一部の意味でしかありません。

onはダイナミックな前置詞です。静止状態だけでなく、さまざまな「動き」を表すのがonの本質なのです。それは前置詞のほか、「副詞」としての働きでいっそう強くなります。

本章の説明を読む前に、まず以下のことを頭に入れておいてください。

onは、
 「準備されたものが対面方向に現れて」
 「動く・進む」
 「連続する・連続させる」
 その結果
 「機能する・機能させる」そして「傾く・傾ける」
 さらにその結果
 「重くのしかかる」「～に接触して加わる・加える」
 を意味する。

次項より、それぞれの意味について詳しく述べてゆきましょう。



■ [2] 「現れて」「正面を向けば～が存在する」を表す on ■

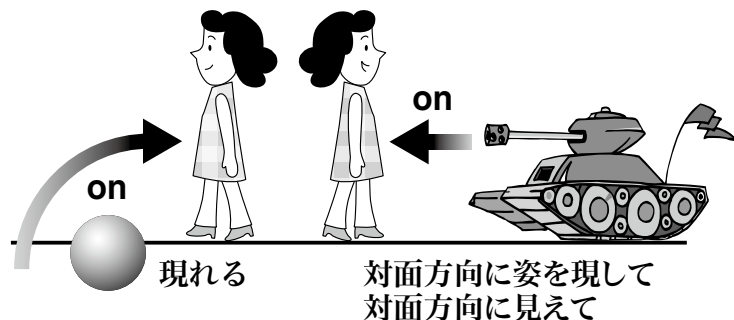
まず、onには「現れる」というイメージがあることをインプットしておいてください。これは、あなたが見ている地平線からお日様が現れるイメージです。

「現れる」というイメージからは、その結果「あらかじめ準備されていた行為が主語の対面方向に現れる」、そして、そこから比喩的に「ある原因があって、その結果が現れる」ことを意味するのです。

「対面方向に現れて」という意味では、

Three actors are **on**.

とやると、「3人の男優が現れて」とは、テレビであれば「出演している」、劇であれば「演じている」のように訳すことができます。つまり「相手が準備をして、見てもらいたいものが現れる」ということなのです。このonは副詞です。



「ある原因があって、その結果が現れる」onの例をあげましょう。

What is on?

とやると、「どうしたの?」「何があったの?」と訳されるのですが、これは、onで「原因がわからないが何かが現れる」、その結果「その影響を受ける」ことを意味しているのです。

さらに、onとともに用いられる「名詞」にも同様に「準備されて現われる」という意味が出てくることに注意してください。

例えば、次のようなものです

- ① TV (テレビ)
- ② the play (舞台)
- ③ Shinobu (役者としてのしのぶ)
- ④ the war (戦争)
- ⑤ the party (パーティ)
- ⑥ the horse race (競馬)、など

①のTVであれば、TV is on.で「番組が放映されているのが見える」→「テレビがついている」という意味になります。

②では、The play is on.とやると、「劇が現れる」から「劇が行われている(上演されている)」となります。

③では、Shinobu is on.とやると「しのぶが出演している」。

④は、The war is on.では「戦争が生じて」の意味から「戦争が始まっている」ことを意味します。

⑤では、The party is on.で「パーティが行われている」。